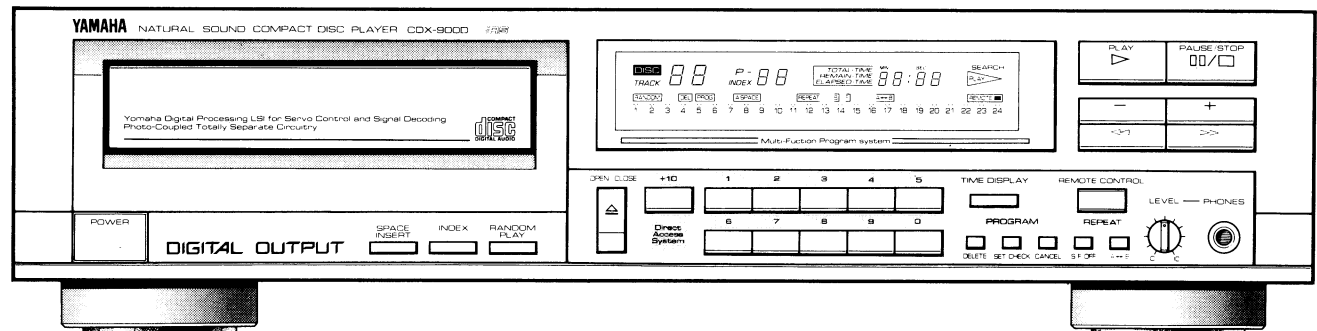


CDX-900D

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤー CDX-900D をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-900D の優れた性能を十分に発揮させるとともに、長年、支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書を、ご使用前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用前に	3
リモコンユニットについて	4
コンパクトディスクの取り扱い	5
接続のしかた	6
各部の名称とはたらき	7
基本的な演奏	11
選曲のしかた	14
プログラム演奏	16
インデックス演奏	20
リピート演奏	21
ランダム演奏	22
スペースインサートについて	23
タイマー演奏	23
故障かなと思ったら	24
参考仕様	25
ヤマハホットラインサービスネットワーク	26

特長

本機はCD(コンパクトディスク)の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、ヤマハ最新のCDプレーヤー技術を結集して開発されました。

周波数特性 DC~20,000Hz \pm 0.3dB、ダイナミックレンジ100dB以上、高調波歪率+雑音0.003%以下(1kHz)、SN比110dB以上という電気特性と、ワウフラッターは測定限界以下という機械的特性に裏付けされた精緻な音質を実現しました。

● デジタルサウンドのクオリティを追求する回路設計

デジタル部、アナログ部へ各々独立給電する2電源方式、光結合素子フォトカプラーにより電気的分離をはかったフォトアイソレーションなど、本機はデジタル部とアナログ部を完全分離回路構成とし、ノイズ混入要因を排除。加えてツインD/Aコンバーターの搭載により、原音のクオリティをいささかも損なうことのない再生を保証しました。またデジタル入力端子を持つアンプへのダイレクト接続を可能にするDIGITAL OUT端子も装備しました。

● 演奏状態を常に確認できるFLディスプレイ

8桁のディスプレイが演奏中の曲番、プログラム曲番、演奏経過時間、演奏残り時間、総演奏時間などをデジタル表示。また、プログラム演奏、リピート演奏、インデックス演奏などの各演奏モードもインジケータが表示していますので、常に確認することができます。さらに、演奏状況が一目でわかるミュージックカレンダーも装備しています。

● リスニングルームで威力を発揮するリモコンユニットを標準装備

付属のリモコンユニットをご使用になれば、リスニングポジションを離れることなく基本操作のほとんどが行えます。さらに通常のディスクに収録されている曲数をワンタッチでカバーするダイレクトキーを使ったスピーディな選曲が行えます。

● マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピュータ搭載により、ランダムプログラム演奏、リピート演奏(全曲、一曲、A \leftrightarrow B、プログラム)を始め、インデックス演奏などコンパクトディスクに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏をシンプルなキーオペレーションで可能としました。

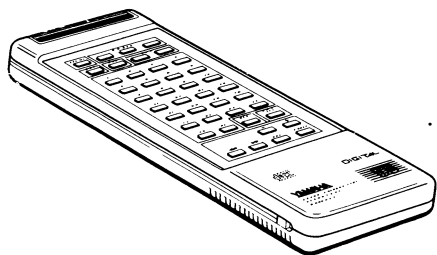
ご使用の前に

■ 本機の設置場所について

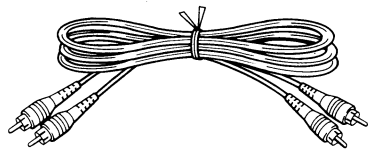
- 本機を設置する際は、振動のない水平な場所を選んでください。また、アンプなどの熱を発生する機器の上には設置しないようにしてください。他のオーディオ機器と一緒にラックなどに入れる場合には、アンプなどから出る熱の影響を避けるため、アンプよりも下の棚（ホコリをかぶる心配のない、できるだけ下の棚）に入れ、風通しを良くしてご使用ください。
- 本機がチューナーなど、他の機器に妨害を与えるようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。

■ 付属品を確認してください。

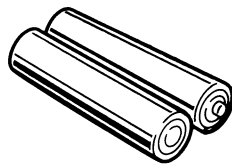
付属品は3点あります。



・リモコンユニット (RS-CD9)



・ピンプラグコード



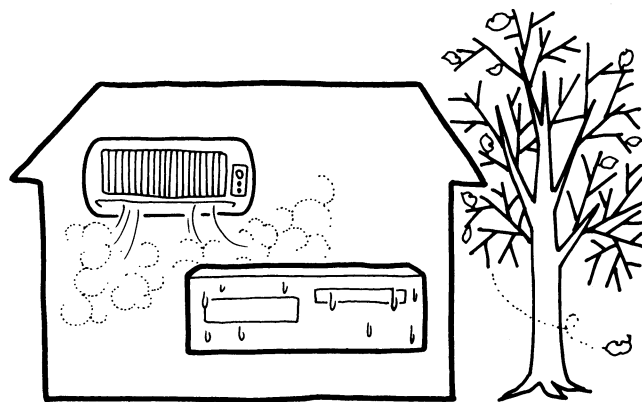
・乾電池 単3 (SUM-3) 2本

■ 結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。

露がついたままでは、正常の動作ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1～2時間そのままに放置し、本機を室温に保ち、露が消えてから操作をしてください。

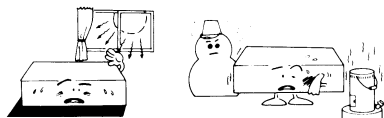
結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。



豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

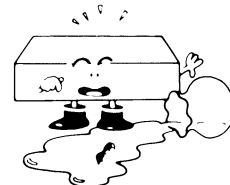
窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)は、さけてください。



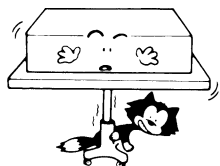
結露現象について

本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

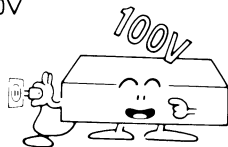


不安定な場所をさけて！

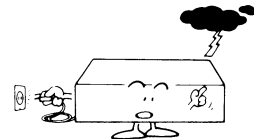


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

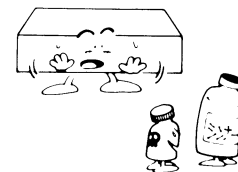


雷が近づいたら

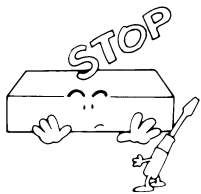


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

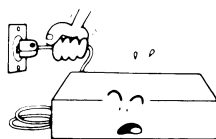
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

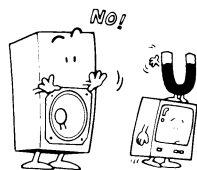


セットの通風孔をふさがない

放熱を妨げないため、セットの通風孔の前に敷き物や、レコードなどを絶対に置かないでください。



磁気・テレビはさけて！



こわれた？



24ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

取扱説明書はかならず保管してください。

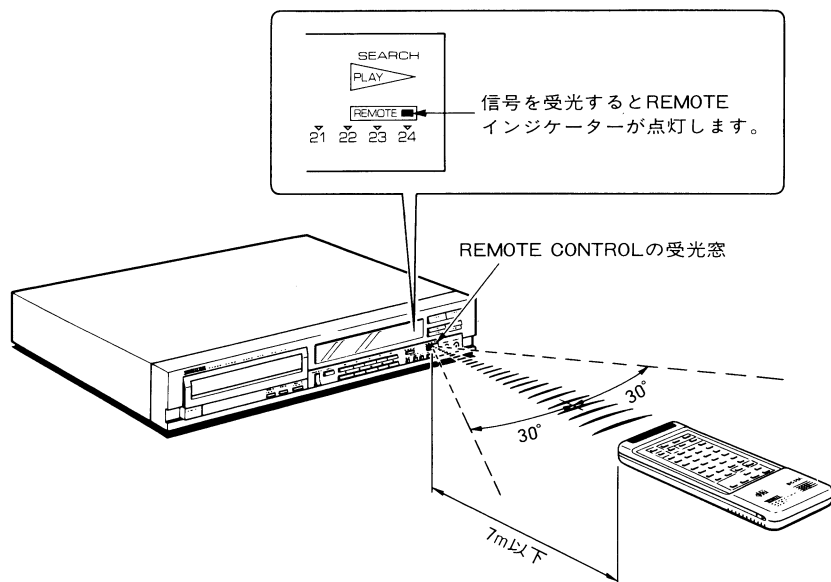


ファイルなど

リモコンユニットについて

付属のリモコンユニットRS-CD9をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

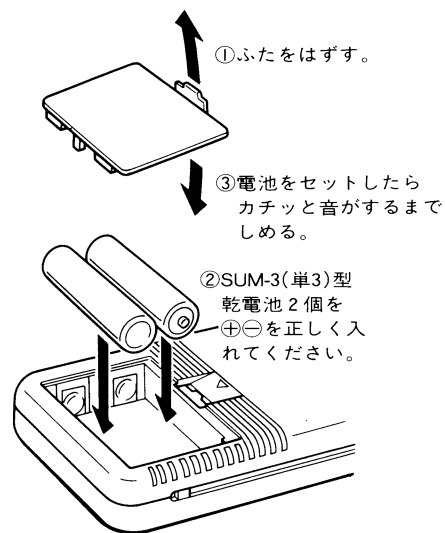
なお、信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。



電池の交換時期は？


リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押してもREMOTEインジケータがつかなくなります。

●電池の交換は



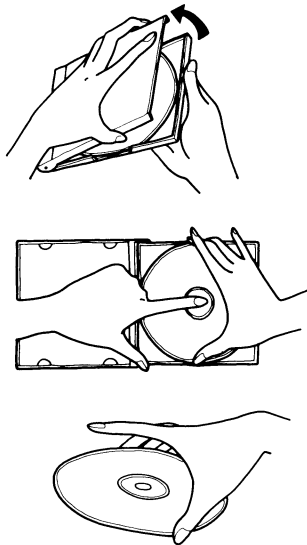
- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状で性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてしないでください。万一液もれが起きたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

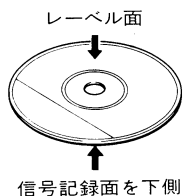
ケースからの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。
3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

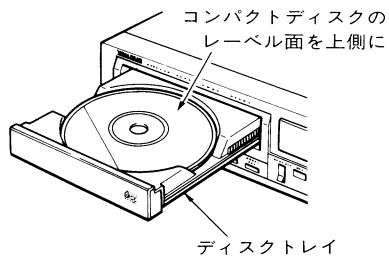


ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)

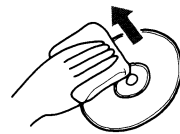


- 市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。

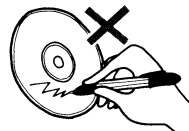


取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音質にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



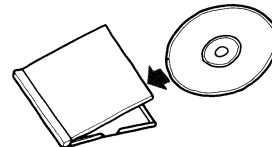
- 曲げたりしないでください。



- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



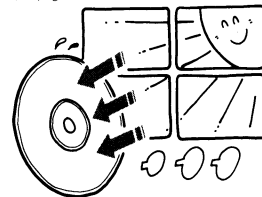
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



接続のしかた

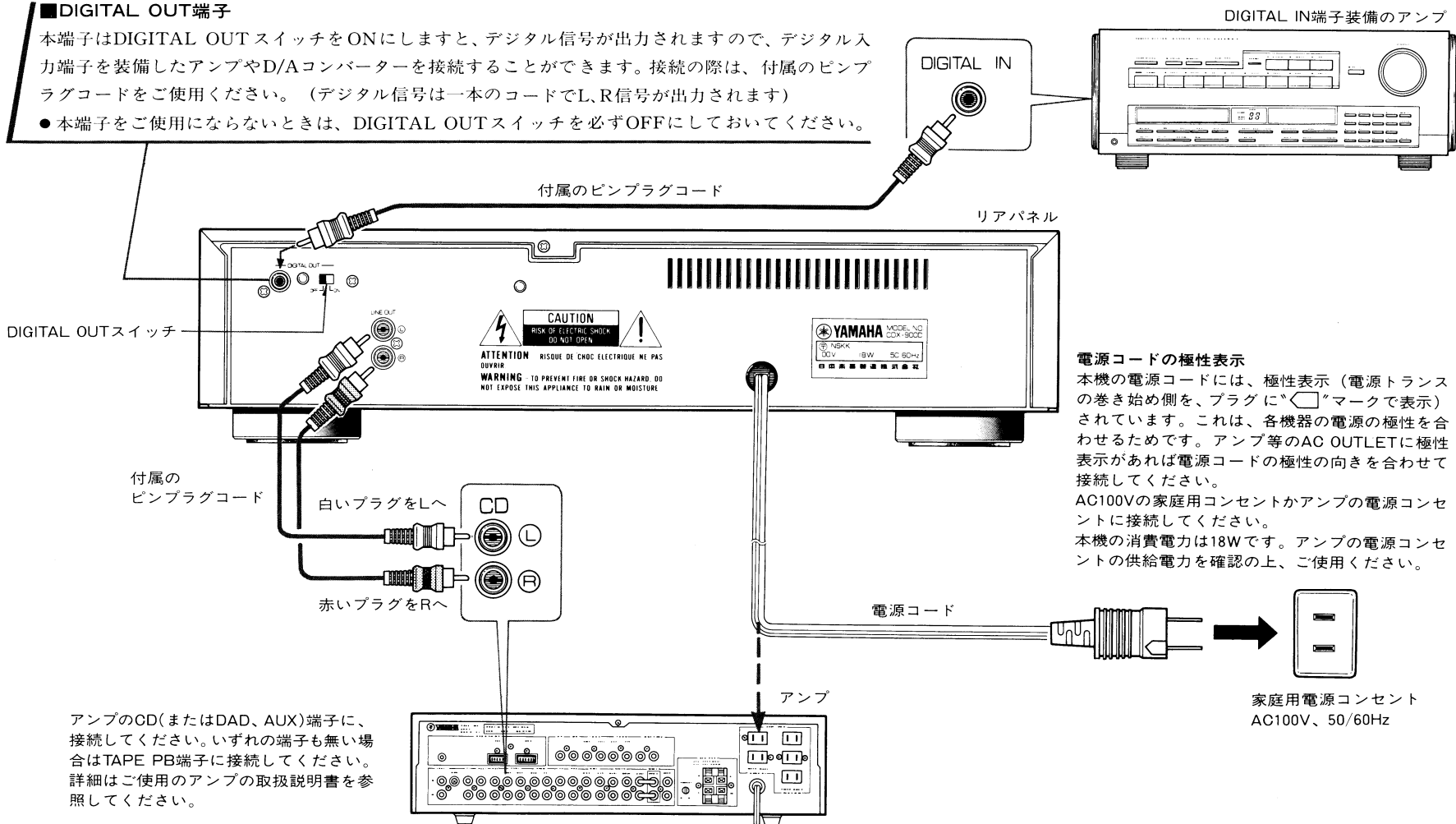
- 接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して、正しく接続してください。

- 電源コードのプラグを家庭用電源コンセントまたはアンプの電源コンセントに、しっかりと差し込んでください。

■DIGITAL OUT端子

本端子はDIGITAL OUTスイッチをONにしますと、デジタル信号が出力されますので、デジタル入力端子を装備したアンプやD/Aコンバーターを接続することができます。接続の際は、付属のピンプラグコードをご使用ください。(デジタル信号は一本のコードでL、R信号が出力されます)

- 本端子をご使用にならないときは、DIGITAL OUTスイッチを必ずOFFにしておいてください。



電源コードの極性表示

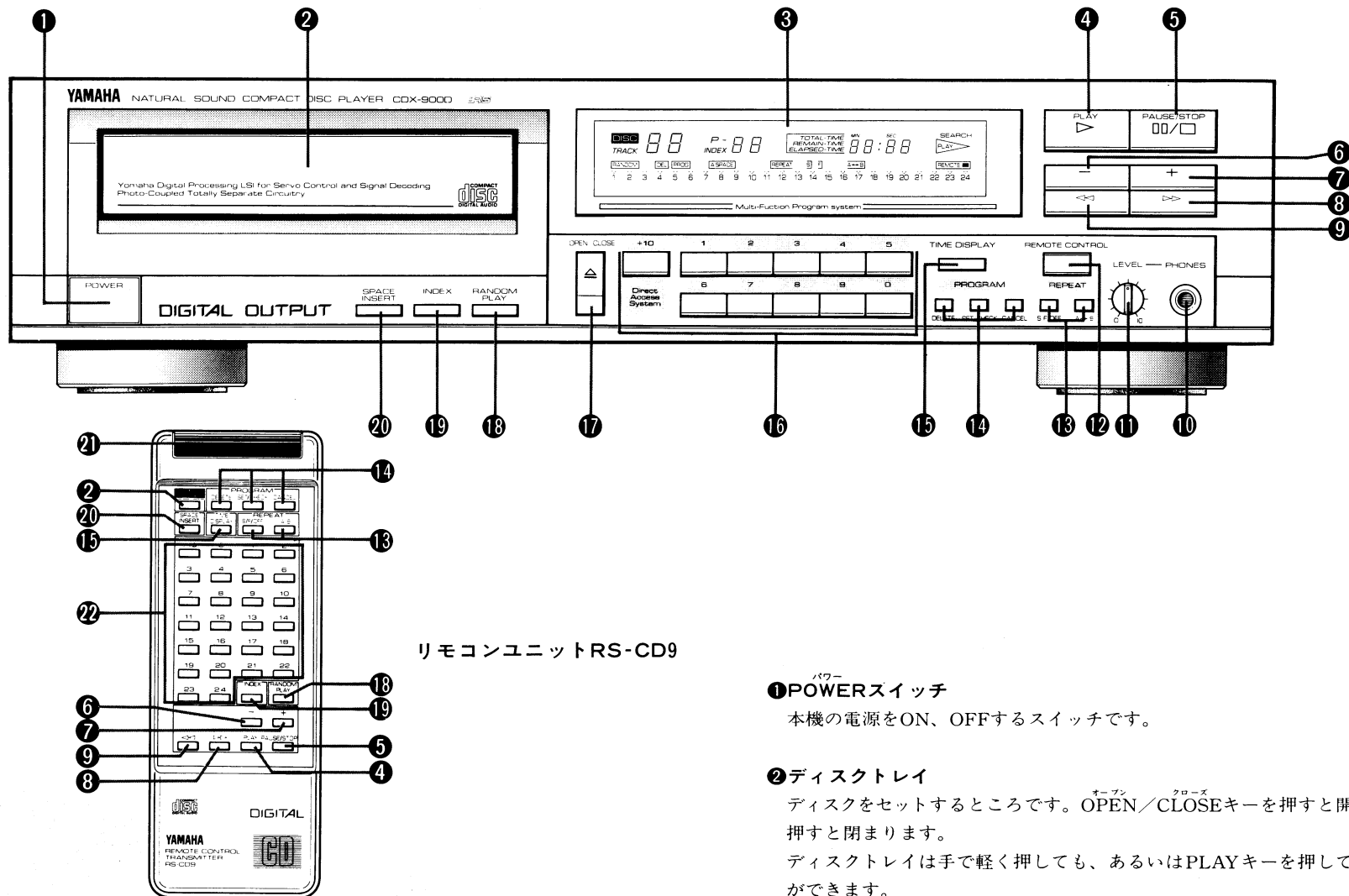
本機の電源コードには、極性表示（電源トランスの巻き始め側を、プラグに“◁”マークで表示）されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば電源コードの極性の向きを合わせて接続してください。

AC100Vの家庭用コンセントかアンプの電源コンセントに接続してください。

本機の消費電力は18Wです。アンプの電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。

アンプのCD(またはDAD、AUX)端子に、接続してください。いずれの端子も無い場合はTAPE PB端子に接続してください。詳細はご使用のアンプの取扱説明書を参照してください。

各部の名称とはたらき



リモコンユニットRS-CD9

① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。

ディスクトレイは手で軽く押しでも、あるいはPLAYキーを押しても閉じることができます。

■電源がONの状態であれば、ディスクトレイの開閉はできません。

③ ディスプレイ

ディスクインジケーター

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクが正しくセットされているときは、このインジケーターが点灯します。

曲番(TRACK)インジケーター

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。ディスクをセットしてディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

プログラム/インデックス P-/INDEXインジケーター

プログラム曲番やインデックス番号を表示します。

TOTAL/REMAIN/ELAPSED TIMEインジケーター

TIME DISPLAYスイッチを押すごとに、時間表示がELAPSED TIME(演奏経過時間)、REMAIN TIME(残り時間)、TOTAL TIME(総演奏時間)に変わり、各々の時間を分(MIN)秒(SEC)単位で表示します。

ランダム RANDOMインジケーター

ランダム演奏モードのときに点灯します。

デリート DELインジケーター

デリートプログラムがセットされているときに点灯します。

プログラム PROGインジケーター

プログラムのセット中および完了時に点灯します。

リピート/シングル/フル REPEAT S、F、A↔Bインジケーター

リピート演奏の種類がS(一曲)、F(全曲)またはA↔Bリピートかを表示します。

オート/スペース A. SPACEインジケーター

スペースインサートモード時に点灯します。

サーチ SEARCHインジケーター

レーザーピックアップが曲をサーチ(検索)しているときに点灯します。

プレイ PLAYインジケーター

演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

リモート REMOTEインジケーター

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

ミュージックカレンダー

1~24(トラックナンバー) ディスクに収録されている総曲数を点灯して表示します。ミュージックトライアングル(▽) 演奏待ちおよび演奏中の曲は▽が点灯し、演奏が終了した曲の▽は消灯します。

④ PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

⑤ PAUSE/STOPキー

演奏中にこのキーを一度押しますと、その箇所でもポーズ(一時停止)し、もう一度押すとストップ(ディスクの1曲目の頭に戻り停止)します。

⑥ 〰️キー

演奏またはポーズしている曲の頭に戻すキーです。

曲の頭でポーズしている場合は、前の曲の頭に戻ります。

演奏時 : その曲の頭から演奏

ポーズ時 : その曲の頭でポーズ

ストップ時 : 変化しません。

■押し続けると連続的に変化します。

7 "＋"キー

一曲ずつ次の曲の頭に進めるキーです。

演奏時 : 次の曲の頭から演奏

ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ

ストップ時 : 次の曲の頭で演奏待機

■押し続けると連続的に変化します。

8 "▷"キー

演奏を早送りさせるキーです。

演奏時 : 音出し早送り

ポーズ時 : 音無し早送り

ストップ時 : 変化しません。

■3秒以上押し続けると高速で早送りします。

9 "◀"キー

演奏を早戻しさせるキーです。

演奏時 : 音出し早戻し

ポーズ時 : 音無し早戻し

ストップ時 : 変化しません。

■3秒以上押し続けると高速で早戻しします。

10 PHONESジャック

ヘッドホンをこのジャックに接続しますと、アンプの操作をせずに演奏をモニターすることができます。夜間や一人でCD演奏を楽しむときなどに、活用ください。

11 LEVELコントロール

PHONESに接続したヘッドホンの音量を調整することができます。

●リアパネルの出力端子のレベルは調整できません。

12 REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号(赤外線)を受光する窓です。正しく受光しますと、REMOTE CONTROLのインジケーターが点灯します。

13 REPEATキー

リピート(繰返し)演奏をするときに押します。(→リピート演奏P 21)

SINGLE/FULL/OFF : 一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートのセットと解除およびA↔Bリピートを解除するキーです。

A↔B : A↔Bリピート(任意の2点間のリピート)演奏をセットするキーです。

14 PROGRAMキー

聴きたい曲をお好みの順番で演奏する(プログラム演奏→P16)ときや、聴きたくない曲を飛ばして演奏する(デリートプログラム演奏→P19)場合に使います。

DELETE : デリートプログラムをセットするキーです。

SET/CHECK : プログラム演奏をするとき、そのセットやチェックをするキーです。

CANCEL : プログラムの一曲ずつあるいはすべてを削除するキーです。

15 TIME DISPLAYキー

時間表示モードを切り替えるキーです。

ELAPSED TIME (演奏経過時間) 表示中に一度キーを押すと、表示はREMAIN TIME (演奏残り時間) に変わり、もう一度押すとTOTAL TIME (総演奏時間) 表示に変わります。さらに押しますと演奏経過時間表示に戻ります。

16 ダイレクトキー(10キー)(1~0、+10)

選曲やプログラム演奏曲、インデックス番号を指定するキーです。

17 OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。一度押すと開き、もう一度押すと閉じます。

18 RANDOM PLAYキー

ディスクに収録されている曲を、本機にまかせてランダム(順不同)に演奏させるキーです。

インデックス
⑱ INDEXキー

インデックス演奏をするときに使うキーです。(→P20インデックス演奏)

スペース インサート
⑳ SPACE INSERTキー

このキーを押しますと、演奏される曲と曲の間が約3秒間に自動的に設定されます。

リモコンユニット RS-CD9

㉑ 送信窓

リモコン信号を発射する窓です。(→P4リモコンユニットについて)

㉒ ダイレクトキー(0~24,+10)

"0"から"24"まで、そして"+10"の数字キーです。演奏曲番をダイレクトに指定することができます。

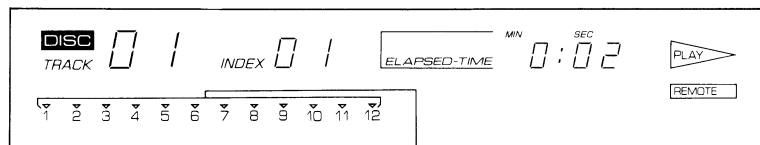
- リモコンユニットのその他のキーの機能は本体のキーと同様です。

ミュージックカレンダーについて

本機はディスクの演奏状況や、プログラム時のセット状況などを一目で把握することのできる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。

ディスクをセットしますと、そのディスクに収録されている曲数に対応した番号とミュージックトライアングル(▽)が点灯し、演奏を終えた曲の▽が消灯します。

▶ 例 12曲を収録したディスクの場合は

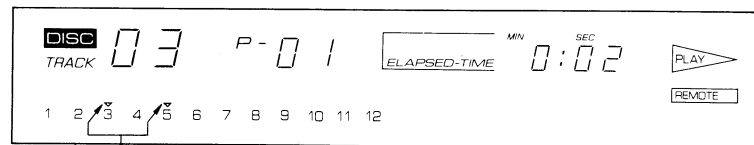


演奏終了後は消灯します。

またプログラム選曲時には、プログラムされた曲の▽が点灯しますのでセットミスを防ぐことができます。

※本取扱説明書では12曲収録されたディスクを例に説明しております。

▶ 曲番3、曲番5をプログラムした場合は



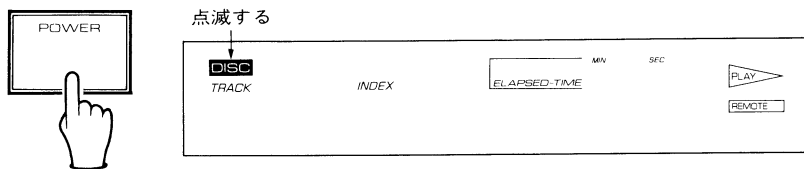
プログラムされた曲の▽のみ点灯します。

基本的な演奏

リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- コンパクトディスクは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、事前にアンプのボリュームの位置にご注意ください。

1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。

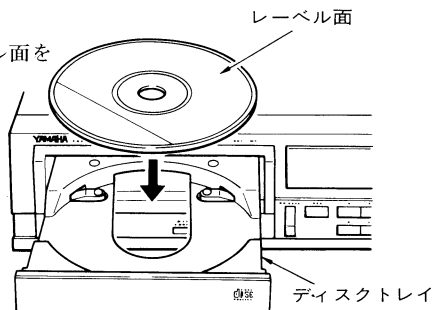


2 OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。

- ディスクトレイが開いている状態では、OPEN/CLOSEキー、PLAYキーのほかにはダイレクトキーの操作が可能です。

3 ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。

- レーベル面の反対側が音の記録面です。(記録面は片面だけです。)

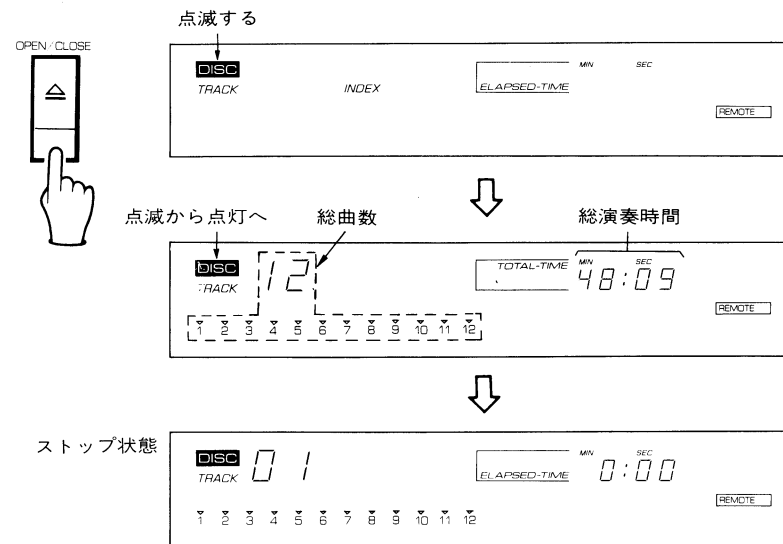


4 OPEN/CLOSEキーを押します。

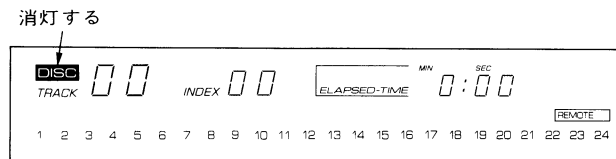
ディスクトレイが閉まり、本機がディスクの収められている情報を読み込む数秒間、DISCインジケータが点滅、その後点灯に変わります。

ディスプレイは、そのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示した後ストップ状態になります。同時にミュージックカレンダーがディスクに収録されている曲を番号と▽の点灯で示します。

例 総曲数12曲、総演奏時間48分9秒



- ディスクをセットしてもDISCインジケータが点滅後消灯し、ELAPSED TIME 0:00を表示するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

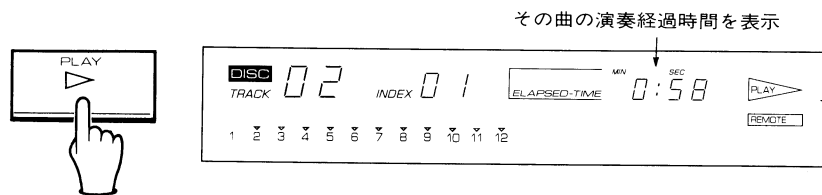


5

PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、1曲目からディスクの最後の曲まで演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示します。また演奏が終了した曲番のミュージックトライアングル(▽)は順次消灯し、最終曲まで演奏すると自動的にストップ状態(1曲目の頭で待機)になります。

例 2曲目の演奏スタート後58秒経過



- ディスクにキズなどがあると、演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。
- 偏芯したディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中は本機を動かさないでください。演奏中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたり、衝撃を与えたりしますと、ディスクに傷を付けたりする恐れがあります。本機を動かす場合には、演奏を中止し、ディスクを必ず取り出してください。

ご注意

- ディスクトレイに不要物などを入れますと故障などの原因となります。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないでください。

- ディスクがディスクトレイにセットされていたときには、電源を入れますと総曲数、総演奏時間を表示せずに、ただちに演奏が開始されます。
- ディスクトレイは、OPEN/CLOSEキーを押さずに、PLAYキーを押す、あるいはディスクトレイを軽く手で押しても閉じることができます。この場合にも総曲数、総演奏時間を表示せずに、ただちに演奏が開始されます。

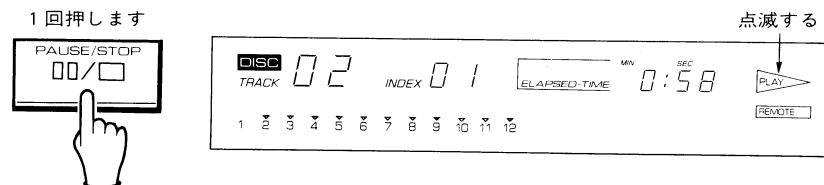
演奏を一時停止させるときは

PAUSE/STOPキーを一回押します。

キーを押したところで一時停止(ポーズ)し、PLAYインジケータが点滅します。再び演奏を始めるときには、PLAYキーを押してください。

- ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押しますとストップ状態になります。

例 2曲目を演奏中、2曲目の演奏スタート後58秒でポーズ



演奏をストップさせるときは

PAUSE/STOPキーを2回押します。

PLAYインジケータが消え、演奏がストップします。ピックアップは1曲目の頭で待機します。

ディスクをとりだすには

OPEN/CLOSEキーを押します。

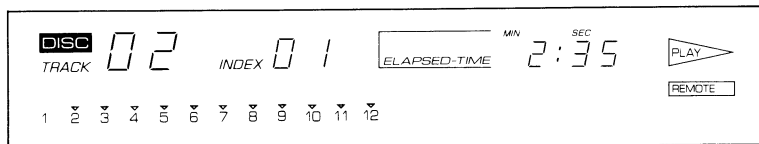
ディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

- OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキー機能に優先します。例えば演奏中でもこのキーを押せば、演奏がストップし、ディスクを取り出すことができます。このような場合にも、本体、ディスクに対して何らの支障はありません。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐため、必ずディスクトレイは閉めておいてください。

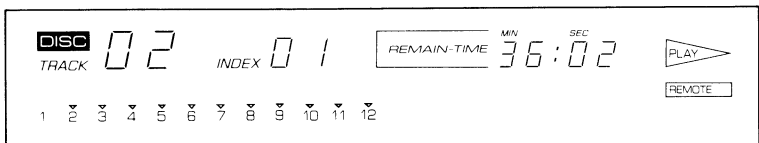
ディスプレイについて

TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が切り変わります。

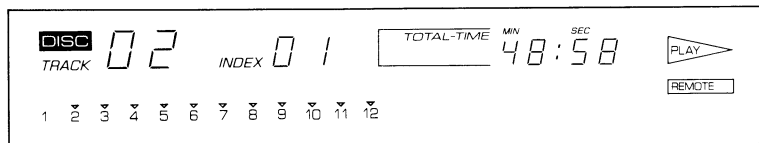
演奏経過時間 ELAPSED TIME  例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



演奏残り時間 REMAIN TIME  例 2曲目を演奏中、演奏終了まで、あと36分2秒















総演奏時間 TOTAL TIME  例 2曲目を演奏中、ディスク（プログラム）の総演奏時間は48分58秒



Playing Variation プレイングバリエーション

■本機はいろいろな演奏をお楽しみいただけます。下記のリストを参考にしてください。

-  ディスクの始めから終わりまで通して聴きたい → 基本的な演奏 P 11
-  ディスクの途中の曲から聴きたい → 選曲のしかた P 14
-  ディスクの中の何曲かだけを聴きたい → プログラム演奏 P 16
-  ディスクの中のある曲を飛ばして聴きたい → デリートプログラム演奏 P 19
-  曲の途中のある楽章 (INDEX) から聴きたい → インデックス演奏 P 20
-  ディスクの始めから終わりまで通して
繰り返して聴きたい → リピート演奏 全曲リピート P 21
-  ディスクの中のある一曲を
繰り返して聴きたい → リピート演奏 一曲リピート P 21
-  ディスクのある部分を
繰り返して聴きたい → リピート演奏 A ↔ B リピート P 21
-  プログラムした曲を繰り返して聴きたい → リピート演奏 P 21
-  気分を変えて、たまには演奏順を本機にまかせたい → ランダム演奏 P 22
-  ディスクをカセットテープに録音したい → スペースインサートについて P 23
-  CD演奏を目覚ましにしたい → タイマー演奏 P 23

選曲のしかた

リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- “+”“-”キーやダイレクトキー（10キー）を使って、簡単にディスクの中のお好みの曲を選曲することができます。

演奏を開始する前、および演奏中の選曲

+キー ……キーを押すごとに次の曲に移ります。押し続けると連続的に変化した最終曲で止まります。

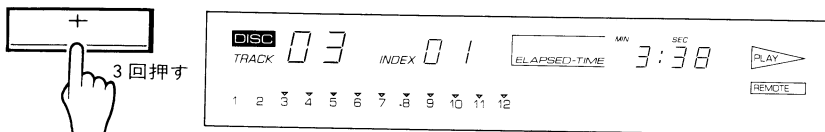
-キー ……キーを押すごとに前の曲の頭に戻ります（演奏中のときは、まずその曲の頭に戻ります）。

押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

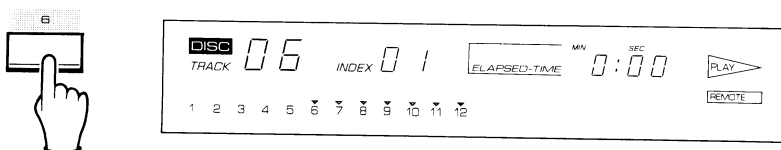
ダイレクトキー(10キー) ……ダイレクトに選曲することができます。演奏したい曲の番号を押します。

- ディスクに収録されている曲数より大きな番号を指定した場合は、自動的に最終曲番がディスプレイに表示されます。
- 選曲操作はディスクトレイが開いた状態でも行えます。

例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき



または



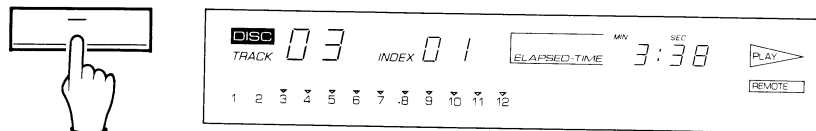
- 演奏中に選曲した場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

演奏中の曲の頭に戻るとき

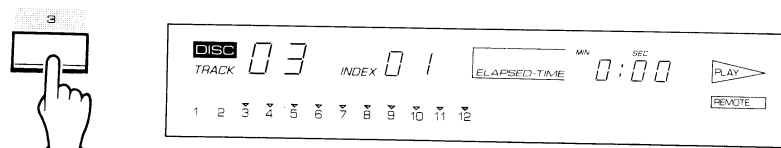
-キー ……“-”キーを一回押します。

ダイレクトキー(10キー) ……演奏している曲の番号を押します。

例 曲番3を演奏中に、曲番3の頭から演奏しなおすとき



または



早送りと早戻し

- 演奏中またはポーズ中に“>>”“<<”キーを使って、早送り・早戻しをすることができます。

演奏中(音出しサーチ)

“>>”または“<<”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で、その後は高速で早送り・早戻しすることができます。キーを押している間は、再生音を小さな音(約1/4)で聴くことができます。指を離れたところから演奏が再開します。

- “>>”キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態になります。

ポーズ中(音無しサーチ)

“>>”または“<<”キーを押しますと早送り・早戻しができますが、ポーズ中はサーチ音は出ません。

ストップ状態

“>>”あるいは“<<”キーを押しても、変化しません。

ダイレクトキー(10キー)の操作について

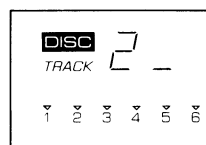
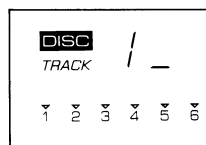
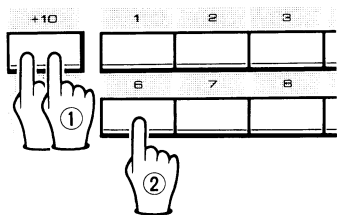
● キーを押し間違えた場合は、新たに正しい番号を押し直し、ディスプレイに希望の曲番が表示されていることを確かめてからPLAYキーを押してください。

● “+10”キーの使いかた

“+10”キーを押しますと、“1-”と表示がでますのでその後に“1”の位の番号を押せば、スピーディに選曲することができます。

▶ 例 本体の10キーで26曲目を選曲する場合

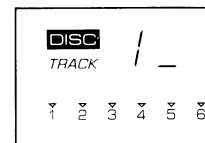
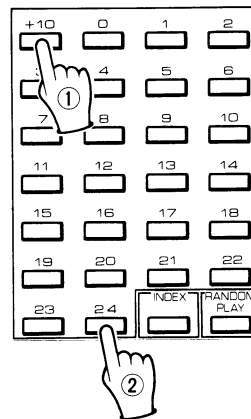
- ① “+10”キーを2度押します。
- ② “6”キーを押します。



26曲目の頭から自動的に演奏が始まります。

▶ 例 リモコンユニットのダイレクトキーで34曲目を選曲する場合

- ① “+10”キーを押します。
- ② “24”キーを押します。



- “+10”キーを押すごとに“1-”、“2-”、“3-”と変わり“9-”の次に押しますと、“0-”となります。
- “+10”キーを押した場合には“1”の位が入力されるまで、保持されます。
- ストップ状態や、ディスクトレイが開いた状態で“+10”キーを押し、“1”の位を入力しないままPLAYキーを押しますと一曲目から演奏します。
- 演奏中に“+10”キーを押し、“1”の位を入力しないままに“+” “-”キーを操作しますと、表示とは異なり“+” “-”キーによって指定された曲が演奏されます。
- プログラム演奏中やランダム演奏中に“+10”キーを押し、“1”の位を入力しないままにしておきますと、その曲が演奏を終了し次の曲のサーチを行った後でいったん“1”の位に“0”を表示してから正規の曲番を表示します。この時点で“+10”キーによる“1”の位の入力待ちは解除されます。

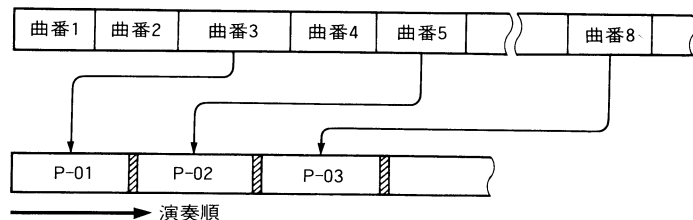
プログラム演奏

リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- ディスクに収録されている曲の中から、任意の数曲を選んで、順番を並べ変えて（ランダムに）演奏することができます。
- 最大24曲までプログラムすることができます。

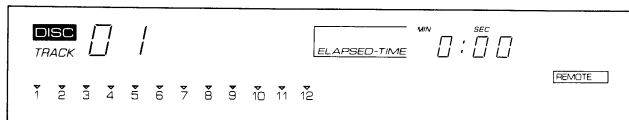
プログラムのセットのしかた

例 次のようなプログラムは



1 ストップ状態にします。

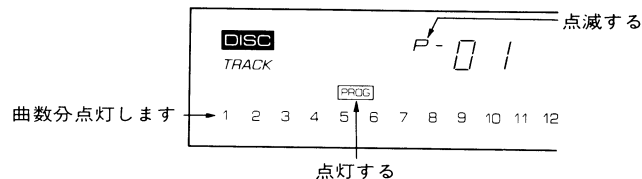
- 演奏中のときは、PAUSE/STOPキーを2回、ポーズ中のときは1回押してください。



2 PROGRAMのSET/CHECKキーを押します。

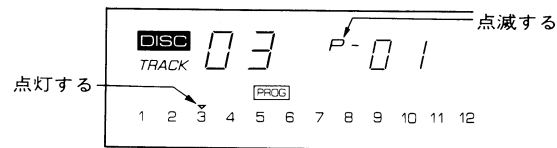
ディスプレイに「P-01」の表示が出て、プログラム1にプログラムが可能であることを示します。また「P-」インジケータが点滅します。

- このときミュージックカレンダーの▽はすべて消灯します。



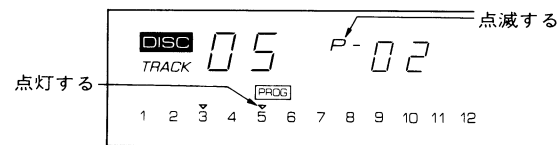
3 希望の曲番をダイレクトキーで選択します。 この場合は3です。

- 選曲された曲のミュージックカレンダーの▽が点灯します。



4 再び希望の曲番を選択します。 この場合は5です。

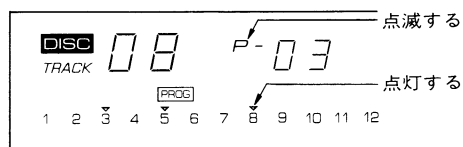
- 同様に選曲された曲のミュージックカレンダーの▽が点灯します。



5 再び希望の曲番を選択します。

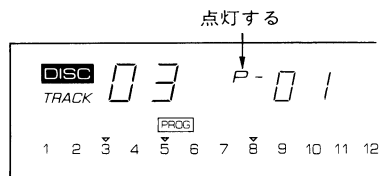
この場合は8です。

- 同様に選択された曲のミュージックカレンダーの▽が点灯します。



6 プログラムのセットを終える場合にはSET/CHECKキーを2度押します。

ディスプレイの“P-”の点滅が点灯に変わりプログラムのセットが完了したことを示します。



- 24曲までセットしますと、自動的に“P-01”に戻り演奏スタンバイ状態になります。
- 希望の曲がすべてセットできたかどうか、ミュージックカレンダーで確認してください。
- プログラムのセット中にPLAYキーを押しますと、ただちに演奏がスタートします。

プログラムのセット中および一度プログラムされた状態でストップしているときは、TOTAL TIMEのみを表示します。カセットテープなどに録音をする際にご活用ください。演奏中はTIME DISPLAYキーを押してREMAIN TIME表示にしますと、プログラムの演奏残り時間が表示されます。

プログラムの演奏

1

PLAYキーを押します。

PLAYインジケーターが点灯し、演奏がスタートします。ディスプレイは演奏中の曲番とプログラム番号を表示します。

- ミュージックカレンダーの▽は、その曲が演奏を終わりますと消灯します。

2

プログラムの演奏が終了しますと、自動的に“P-01”に戻り、演奏スタンバイ状態になります。

プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中に“+”、“-”キーを押しますと、プログラムされている順番で前後の頭出しをすることができます。またダイレクト選曲キーを使いますと、プログラムされていない曲の頭出しをすることができます。

プログラム演奏中の早送り、早戻し

“>>”または“<<”キーを使いますと、プログラムに関係なく早送り、早戻しをすることができます。

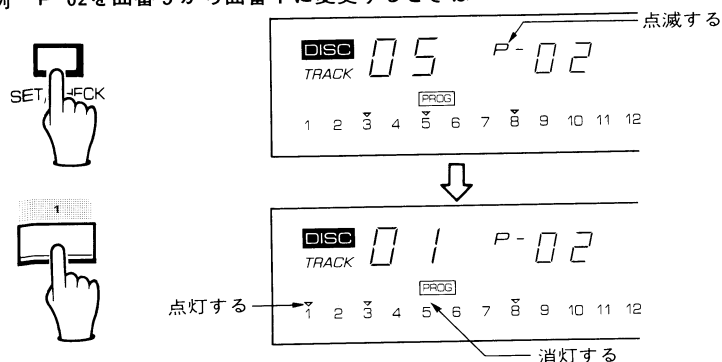
プログラムのチェック

ストップ状態にしてSET/CHECKキーを押しますと、押すごとに、“P-01”から順にプログラム曲番が表示されます。

プログラムの変更のしかた

- 1 ストップ状態にします。
- 2 SET/CHECKキーを押し、変更したいプログラムをディスプレイに表示させます。
- 3 ダイレクトキーで新しい曲番を選びセットし直します。
前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。

例 P-02を曲番5から曲番1に変更するときは



- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合のTOTAL TIMEとREMAIN TIMEは100分代の数字を除いた表示をします。
- プログラム演奏で曲番が24以上の曲をプログラムしたときは、REMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

プログラムの部分削除のしかた

- 1 ストップ状態にします。
- 2 SET/CHECKキーを押し、削除したいプログラムをディスプレイに表示させます。
- 3 CANCELキーを押します。
その曲はキャンセルされ、次の曲がそのプログラムに繰り上がって入ります。

例 P-02、曲番5をキャンセルすると

	P-01	P-02	P-03
キャンセル前の曲番	3	5	8
キャンセル後の曲番	3	8	←

プログラムの解除のしかた

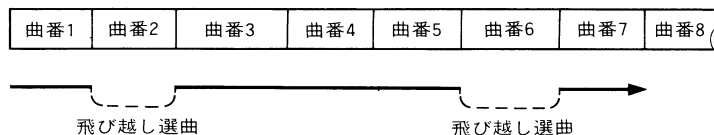
すべてのプログラムを解除するには

- ・演奏中
PAUSE/STOPキーを2度押しストップ状態にし、CANCELキーを押す。
 - ・プログラムセット完了後
SET/CHECKキーを押し、プログラムの頭に戻してCANCELキーを押す。
 - ・ディスクトレイを開ける。
 - ・電源を切る。
- などの方法があります。

デリートプログラム演奏

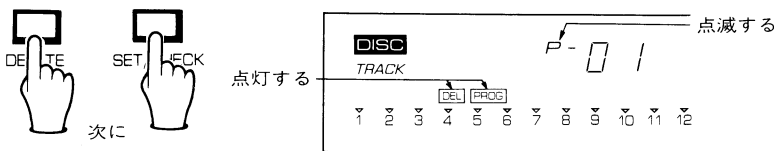
- ディスクに収録されている任意の曲を飛ばして演奏することができます。

例 ディスクの2曲目と6曲目を飛ばして演奏するには

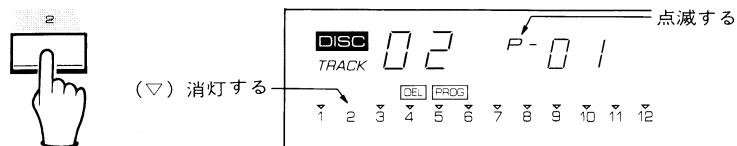


1 PAUSE/STOPキーを2回押し、ストップ状態にします。

2 PROGRAMのDELETEキーを押し、次にSET/CHECKキーを押します。
“P-”インジケーターが点滅、“P-01”にデリートプログラムがセット可能であることを示します。



3 演奏しない曲番を指定します。この場合は2です。
“P-01”に曲番2がセットされ、曲番2のミュージックカレンダーの▽が消灯します。



4 再び演奏しない曲番をセットします。この場合は6です。
“P-02”に曲番6がセットされ、曲番6のミュージックカレンダーの▽が消灯します。



5 デリートプログラムのセットを完了させる場合はSET/CHECKキーを2度押します。“P-”インジケーターが点滅から点灯に変わり、デリートプログラムのセットが完了したことを示します。

- セット中に、PLAYキーを押しますと、ただちに演奏がスタートします。

6 PLAYキーを押し、デリートプログラムを演奏します。
この場合はディスクの1曲目から演奏が始まり、2曲目と6曲目を飛ばして順次演奏します。

- プログラムのセット中および一度プログラムされた状態でストップしているときは、TOTAL TIMEのみが表示されます。
- デリートプログラムを演奏中に、ダイレクトキーを操作した場合や、“<</>>”キーでプログラム演奏曲以外を指定した場合には、ディスプレイはELAPSED TIME表示モードとなり、そのモードに固定されます。
- 総曲数が24曲以上のディスクの場合、24曲以上の曲はデリートプログラムできません。
- ディスクに納められている最初の曲と最後の曲を双方ともデリートプログラムしますと、ダイレクトキーによる演奏のスタートはできません。また、ディスクの全曲をデリートしますと、ダイレクトキーによる選曲はできません。一度プログラムをキャンセルし、あらためて選曲してください。

●デリートプログラムの変更と解除のしかたは、プログラムの変更と解除の方法と同様です。

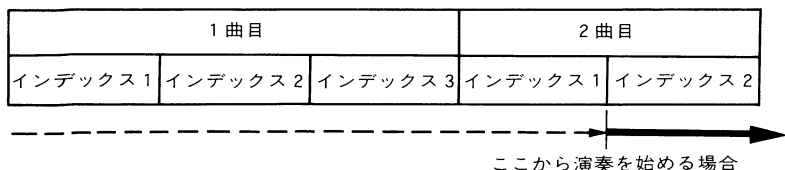
インデックス演奏

◆リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

インデックス番号（クラシック曲の第何楽章など）が設定されているディスクの場合、お好みのインデックスから演奏をスタートさせることができます。

- インデックス番号が記録されているディスクには「INDEX」マークがディスクの解説書に記載されています。演奏をする前にディスクの解説書をお確かめください。
- インデックス演奏は、まず曲番を指定した後にインデックスキーを押し、INDEXインジケータが点滅していることを確認してからインデックス番号を指定してください。

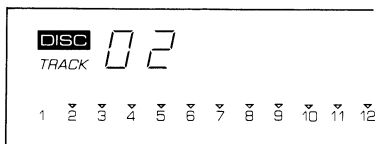
▶例 2曲目のインデックス2から演奏を始めるときには



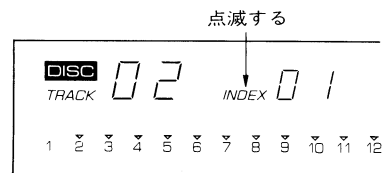
1 ストップ状態にします。

- インデックスの指定は演奏中、ポーズ中にも行なうことができます。

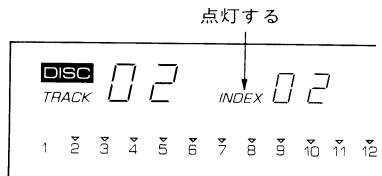
2 ダイレクトキーを押し、曲番を指定します。
この場合は2です。



3 INDEXキーを押します。
ディスプレイのINDEXインジケータが点滅し、インデックス指定モードになります。



4 ダイレクトキーで、演奏を始めたいインデックス番号を指定します。
これでインデックス2に向ってサーチが開始します。サーチの終了した時点でINDEXインジケータが点滅から点灯に変わり演奏がスタートします。



インデックスの解除

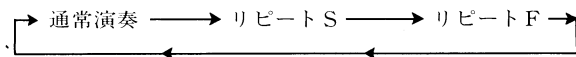
- インデックスの指定モードはINDEXインジケータの点滅中に再度INDEXキーを押しますと解除されます。
- ストップ状態からインデックス指定モードのまま（INDEXインジケータ点滅中）、PLAYキーを押して演奏をスタートさせた場合は、その曲の頭出し終了後に自動的にインジケータは点灯に変わりインデックス指定モードは解除されます。
- インデックス演奏は、指定した箇所少し前から演奏することがあります。
- インデックス演奏は、PLAYキーを押して演奏が開始されると、自動的にインデックスの指定モードは解除されます。

- ディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合は、最終インデックス番号から演奏を始めます。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合は、インデックス番号1を表示し、指定された曲の頭から演奏されます。
- インデックス演奏は、開始されるまでに多少時間がかかることがあります。

リピート演奏

◆リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- ディスクの全曲、一曲あるいは聞きたい部分だけをリピート（繰り返して）演奏することができます。
- REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーは、押すごとにS（シングル：一曲）、F（フル：全曲）、リピート解除（通常演奏）に変わります。



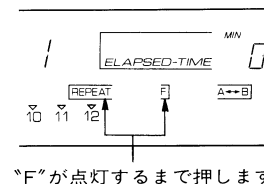
- 一曲リピート：指定した一曲をリピート演奏します。
- 全曲リピート：ディスクの全曲をリピート演奏します。
- A-Bリピート：指定した任意の2点間をリピートします。

- プログラム演奏中、デリートプログラム演奏中およびランダム演奏中に一曲リピートを設定しますと、各々演奏中の曲がリピート演奏されます。
- プログラム演奏中に、ダイレクトキーを使ってプログラム曲以外の曲を演奏させた場合は、その曲の演奏終了後は、元のプログラム曲に戻り、一曲リピートします。

■ 全曲リピート

ディスクに収録されている全曲をリピート演奏します。

- 1 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、ディスプレイにREPEAT Fが点灯させます。

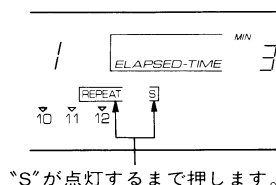


■ 一曲リピート

指定した一曲をリピート演奏します。

- 1 “+” “-” キーまたはダイレクトキーでリピートさせたい曲を選びます。

- 2 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、ディスプレイにREPEAT Sが点灯させます。



- 3 PLAYキーを押します。

- 2 PLAYキーを押します。
 - プログラム演奏、デリートプログラム演奏も全曲リピート演奏することができます。
 - ランダム演奏の場合は、一回目のランダム演奏終了後に、新たなランダム演奏に入ります。

■ 一曲、全曲リピート演奏の解除

REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、REPEAT SまたはREPEAT Fのインジケーターを消灯させてください。

ランダム演奏

- ディスクに収録されている曲を本機が順不同（ランダム）に並べ変えて演奏します。
- ランダム演奏は一通りの演奏が終了しますと、ストップ状態となります。

ランダム演奏のしかた

- 1 演奏中あるいはストップ状態のときに RANDOM PLAY キーを押してください。

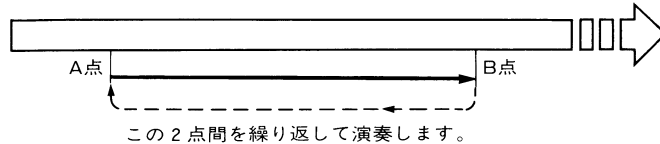


- ランダム演奏は、ランダム演奏中にもう一度 RANDOM PLAY キーを押しますと解除されます。またダイレクトキー(10キー)を押しても解除されます。
- “+”“-”キーを使いますとランダム演奏の前後の曲を頭出しすることができます。
- 総曲数が24曲以上のディスクの場合、ランダム演奏をしますと TOTAL TIME REMAIN TIMEの表示がされないことがあります。これは故障ではありません。
- プログラムのランダム演奏はできません。
- ランダム演奏中にインデックス演奏はできません。

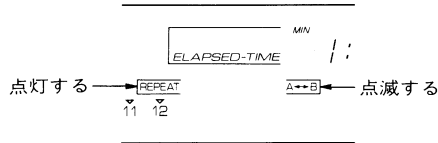
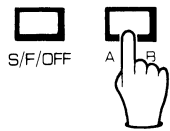
A↔B リpeat

指定したお好きな2点間をリピート演奏することができます。

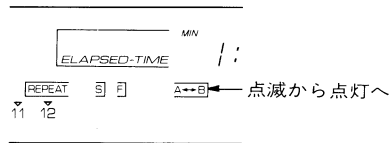
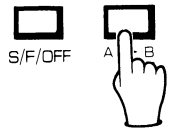
例 次のようなA↔Bリピート演奏は



- 1 演奏中あるいはポーズ中に、リピートさせたい箇所になりましたら REPEAT A↔B キーを一度押します。A点を設定されます。REPEAT A↔B インジケータが点滅します。



- 2 演奏を続けリピートを終えたい箇所になりましたら、再度 REPEAT A↔B キーを押します。これでB点を設定されました。B点を設定されると同時にA↔B リピート演奏がスタートします。REPEAT A↔B インジケータが点灯します。

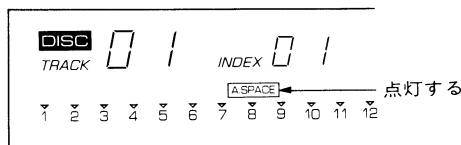


- REPEAT SINGLE/FULL/OFF キーを一回押しますと、A↔B リピートは解除され REPEAT A↔B インジケータが消灯します。
- プログラム演奏中に A↔B リピートはできません。

スペースインサートについて

曲間が充分でないディスクの場合、そのままテープに録音してもテープデッキ側で思い通りに選曲できない場合があります。そのような場合にはSPACE INSERTキーを使って、曲間に適当なスペースを挿入して録音しますとデッキの選曲ミスを防ぐことができます。

- ① 録音を開始する前に、SPACE INSERTキーを押します。
ディスプレイにA. SPACEのインジケーターが点灯します。



- ② PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、曲間に約3秒間のスペースを設定した演奏がスタートします。
 - 曲間の3秒間はディスプレイに“———”の表示が出て、順次“—”印が右に移動して時間経過を示します。
- 録音を開始する前に、TIME DISPLAYキーを使い総演奏時間をチェックしておきますと、録音ミスが防げます。
- ディスクは今までのソースと比較して、圧倒的にダイナミックレンジが異なります。事前にレベルチェックをしておくことをお勧めします。

タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができます、お好みのディスクで目覚まし再生を行なうことができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクを正しくセットします。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調節します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。
(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。
以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的にディスクの第一曲目から演奏が始まります。

※プログラム演奏、リピート演奏はできません。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください。
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	インジケーターが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	DC~20kHz±0.3dB
ディエンファシス偏差	±0.5dB
高調波歪率+雑音	0.003%以下1kHz(EIAJ)
SN比	110dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	100dB(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	96dB以上(1kHz)
出力電圧	2V r.m.s.(600Ω)
出力インピーダンス	680Ω
ヘッドホン出力電圧(150Ω負荷)	(-20dB) VR MAX 700mV

■方式

光ピックアップ	3ビーム軸スライド型、非球面レンズ
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	16ビットリニア
フィルター	ハイビットデジタルフィルター+5次 ニューアクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	"+"・"-"キーによる順次頭出し ダイレクトキーによる頭出し ダイレクトキーによる指定
インデックスサーチ	"<<"・">>"キーによるサーチ
音出しサーチ(演奏時)	2段階スピード自動切換
ポーズ	ポーズ/ストップキーを1回押す
ストップ	ポーズ/ストップキーを2回押す
総演奏時間表示	TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示	//
プログラム機能	24曲ランダム 合計時間表示機能
オートスペース機能	再生時、曲間3秒以上のスペース
リピート	1曲、全曲またはプログラム全部のリピート A↔Bリピート、ランダムプレイリピート

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W
外形寸法(W×H×D)	435×107×346.8(mm)
重量	6.6kg
付属品	ピンプラグコード リモコンユニット(RS-CD9) 乾電池 単3(SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーポールビル2F
TEL(025)243-4321

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
オーディオ北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F
オーディオ仙台営業所 TEL(022)223-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
オーディオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691

オーディオ神田営業所 TEL(03)255-6767

オーディオ北関東営業所 TEL(03)255-1825

オーディオ横浜営業所 TEL(044)434-4871

オーディオ東京営業所 TEL(03)255-2302

名古屋 〒464 名古屋市中種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
オーディオ中部営業所 TEL(052)782-7551

オーディオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター1
オーディオ関西営業所 TEL(06)647-6411

オーディオ大阪営業所 TEL(06)647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 ぎよん広島ビル内
オーディオ中四国営業所 TEL(082)244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

オーディオ九州営業所 TEL(092)472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1

オーディオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

オーディオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

